

2021 年 6 月 4 日

No. 2021-009

独自開発の大型風車対応のセミサブ型デザインに対して DNV より STATEMENT OF FEASIBILITY を取得

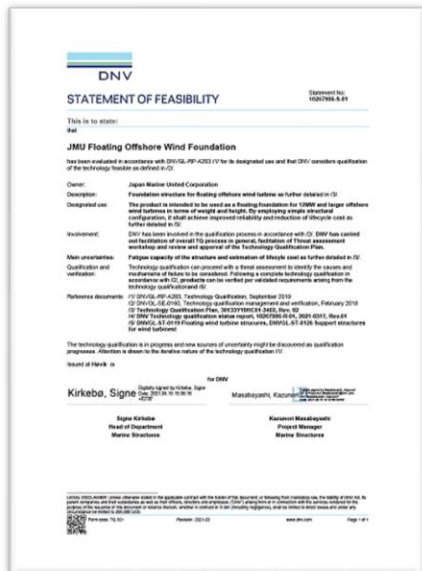
ジャパン マリンユナイテッド株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：千葉 光太郎）は独自に開発した 12MW 級以上の風車の搭載にも対応する浮体式洋上風力発電向けのセミサブ型浮体デザインに対して、DNV（ノルウェー船級協会）より STATEMENT OF FEASIBILITY を取得しました。

当社が独自に開発したセミサブ浮体は、「福島復興・浮体式洋上ウィンドファーム実証研究事業」にて得られた浮体の建造・設置・保守管理の知見を活かして信頼性・収益性・製造性の高い設計を目指したのですが、今回 DNV より、特にシンプルな構造体とすることで、高い信頼性とライフサイクルコストの低減を実現できるとの評価を受け、本浮体が実用的技術であることが認められました。

浮体式洋上風力発電向けの浮体は一旦設置された後は 20 年以上稼働することが前提で、その間台風を始めとした日本特有の厳しい気象海象に耐える必要があり、高い信頼性が求められます。

本 STATEMENT OF FEASIBILITY の取得により、第三者観点からも当社のセミサブ型浮体デザインへの信頼性を評価いただきました。

当社は、温室効果ガス排出量の削減が世界的に求められる中で、再生可能エネルギー普及を促進し、環境保護と社会の発展に貢献して参ります。



（お問い合わせ先）
総務部広報グループ

T E L : 045-264-7164/7168